

<ゆうあいピック奉仕>

5月29日、第16回東京ゆうあいピック（東京都知的障害者スポーツ大会）が駒沢競技場で行われました。開会・



閉会式のお手伝いと、駐車場誘導、場内保安をボーイスカウトが担当しました。大会は二日間行われ、3,200名の選手が都内の八つの会場で日ごろの成果を競いました。大会を支える、

1,500名を超えるボランティアの方々、大歓声の中、楽しく終了いたしました。開会式と閉会式に奉仕の人員が不足したので、次回大会には、万全な人員で望む必要を感じました。奉仕と協力、ありがとうございました。

<世田谷地区最後の隼スカウト面接>

ベンチャーへ全面移行の直前、おそらく世田谷地区で最後の「隼スカウト」になる世田谷第15団所属、問山祐君、野田雄也君の2名が、5月19日、弦巻区民センターで地区面接を受けました。



<異動>（7月1日付け）

地区コミッショナー 守安 信介(7団) ボーイ担当副コミッショナー 橋本 善八(8団) ローバー担当副コミッショナー 諫山 清(15団) 団担当副コミッショナー 安田 明(3団) 団担当副コミッショナー 柳下 泰児(7団) 団担当副コミッショナー 野呂瀬 洋(10団)
進歩委員長 小澤 敏雄(16団)

<堺正章氏夫人岡田美里さんにプレゼント>

ゴールデンウィークを終えた5月6日、地区協議会に女優の岡田美里さんがお見えになりました。それは、世田谷地区の有志が始めた「エイズをもっと理解させよう」の運動が「とうきょうスカウトフェスティバル」の会場にまで発展し、レドリボンを沢山の人に買ってもらいました。集まったお金は「堺正章エイズ基金」に寄付することになっていたのですが、堺正章さんの奥様、岡田美里さんが受け取りに来られたわけです。美里さんには、みん



なの気持ちを書いた沢山のレドリボンを付けた壁かけも同時に差し上げ、大変感激されていました。

<地区の委員会を紹介>

「ひろば」では今後、地区の各種委員会を紹介していく予定です。トップバッターは野営・行事委員会です。

「なんでも屋行」は、電話一本で働きます。業務内容は、

奉仕を基本に行事・設営・警備・炊事・運搬などあって、地区の委員会の中でもスカウト諸君とふれあう機会が多い委員会です。



仕事から、地域の行政とつながって「新年子どもまつり」や「区民まつり」「花火大会」でCAMPING & EVENTS COMMITTEE

のキャップをかぶり、汗を流しているのは野営・行事委員会のメンバーです。また、地区内のリーダーと一緒にあって、ラリーなどの行事を裏方でお手伝いしています。かなりタイヘンな仕事ですが、みなさんから、お声を掛けられると、こころ安らぎます。今後も「なんでも野行」に一声どうぞ！「ワーツ大変だ!!」

PS：現在、野営・行事委員を広く募集しております。特に若いリーダーを歓迎いたします。

<組織拡張委員会「ひろば」の印刷>

「ひろば」の印刷は、世田谷ボランティアセンターの簡易印刷機をお借りして、組織拡張委員会の人たちで仲良く仕事をします。毎回、約5,000枚の紙を両面に印刷し、機械を使って二つに折ります。地区協議会で新鮮な「ひろば」



を配り終わると、一安心はつかの間、すぐ、次号の編集打ち合わせに入ります。まだまだ、満足いく内容になっていませんが、少しでも、私たちのスカウティングに役立つように、

今後がんばっていきますので、皆さんの応援とご協力をお願いします。

次号は11月発行、秋号の予定です。